

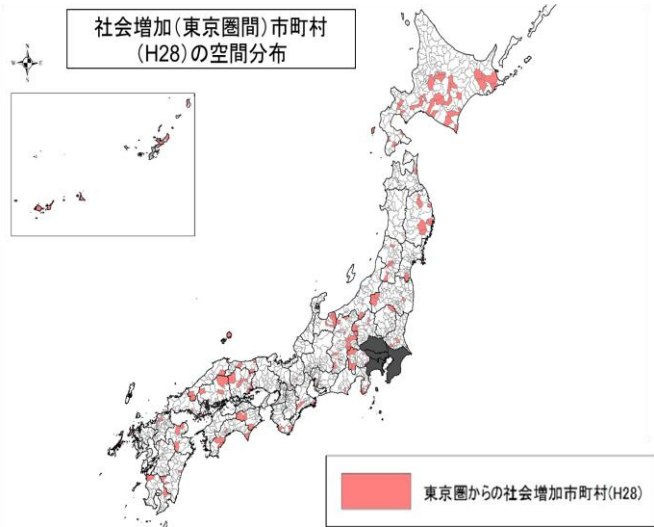
2018年とりまとめ 概要 (1/2)

～ 地方への人の流れを促進し、地域の定住人口・関係人口を増やすために ～

○ テーマ設定の背景・審議事項

- 「住み続けられる国土専門委員会」では、国土形成計画の推進に関し、人口減少地域の住民の生活を守り、「住み続けられる国土」を維持するために講ずべき施策について調査
- また、「住み続けられる国土」とは、人々が世代を超えて、持続可能な暮らしを継いでいくことを可能にする国土であることから、本委員会では、その実現のために必要な政策のあり方を調査するため、長期的な視点を重視して議論
- 平成29年度は、移住・関わり等（移住・定住、二地域居住・就労、地域や地域住民との多様な関わりを持つこと）に関するより効果的な施策展開のあり方について議論

【東京圏とそれ以外の市町村間の社会移動状況】

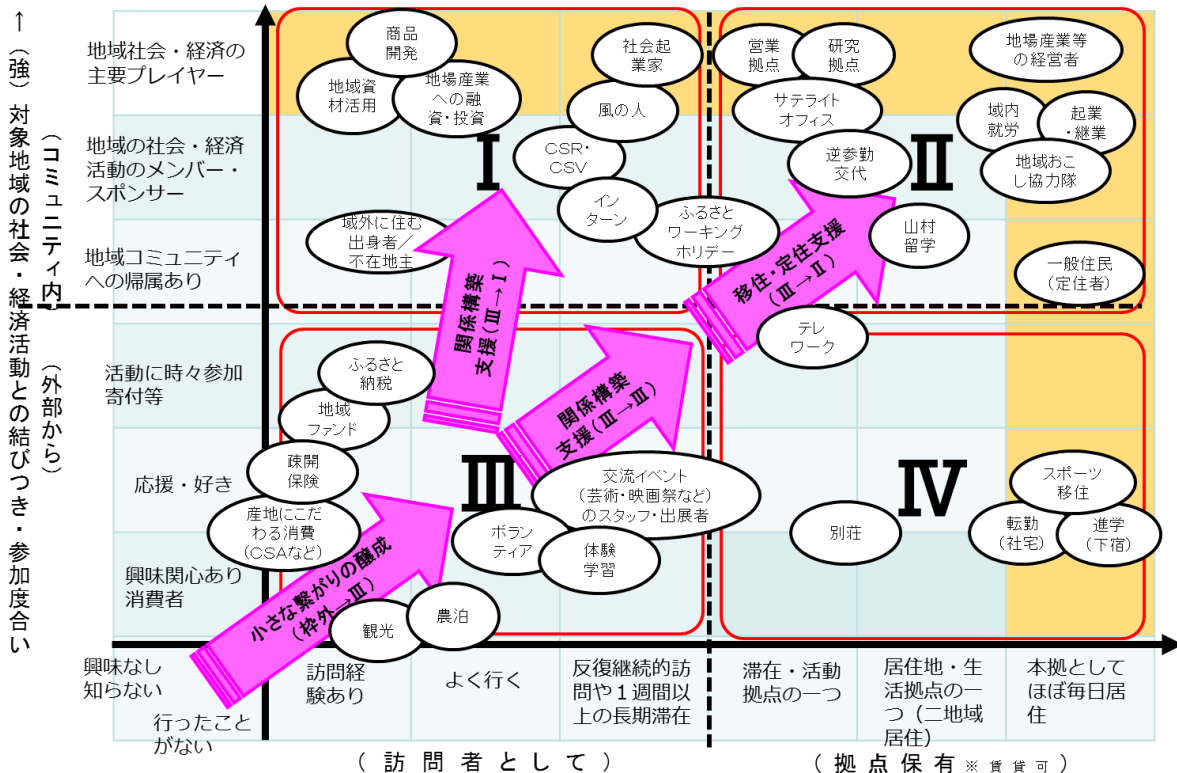


(出典)住民基本台帳人口移動報告(総務省、平成28年)

○ 審議経過

移住・関わり等の戦略的な促進について

【戦略的視点①】：人と地域の段階的な関係に着目した施策の組立



対象地域での物理的な滞在時間割合 (多)→

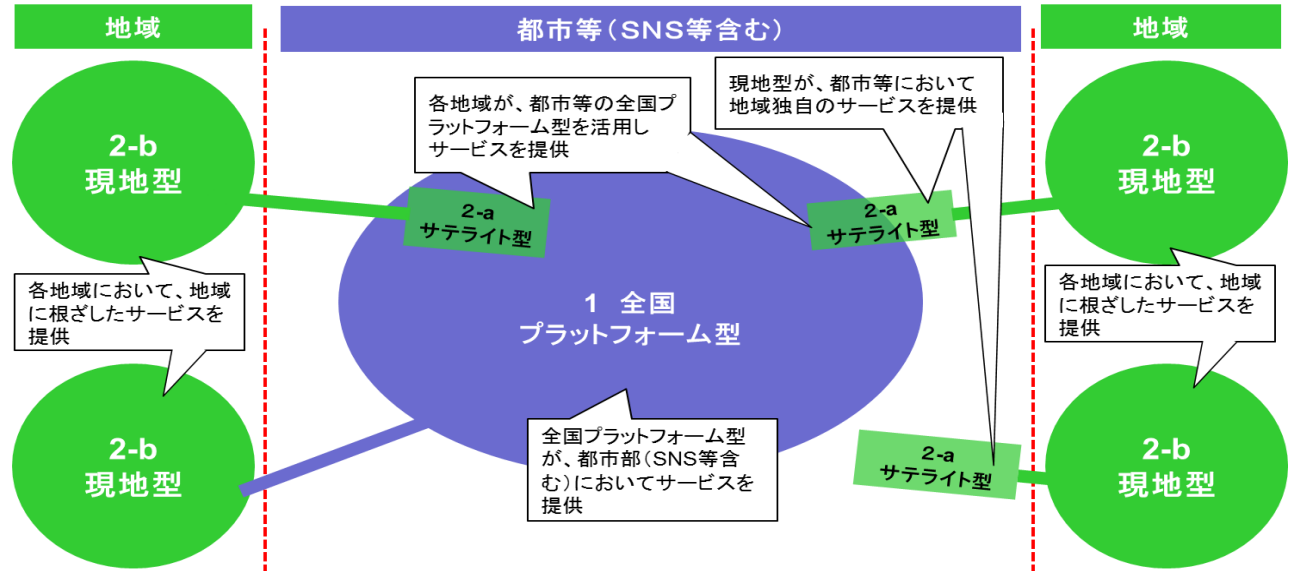
【戦略的視点②】：移住・関わり等希望者のライフスタイルやライフステージの視点に応じた施策への集中

【戦略的視点③】：地域の将来像を掲げ、それに呼応し担い手が集まるというプロセス (西粟倉村「百年の森林事業構想」)

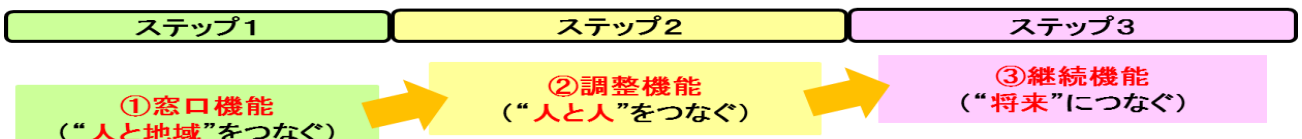


移住・関わり等を支援する機能（つながりサポート機能）のあり方について

【活動場所（フィールド）による分類】



【活動ステップによる分類】



【地域との関わり度合いに応じた分類】（関係人口、移住支援の視点で整理）

- ・ 移住・関わり等希望者の求める環境はライフスタイルやライフステージにより多様化
- ・ 地域は多様な価値観に基づき、地域資源や強みを活かす必要
- ・ つながりサポート機能の強化には、サテライト型の機能強化と調整機能および継続機能の充実の必要性が高い

○ 残された課題

- 【地方への関心を広げていく取組】：新たなライフスタイル等に関する情報の発信・普及
- 【関係人口を支える交通サービス】：地域への二次交通を含むネットワーク強化、交通費軽減
- 【関係人口の窓口となる地域の拠点】：外部に開かれた集いの場としての小さな拠点などの役割
- 【関係人口に関する取組】：関係人口を都市農山漁村共生社会の中で位置づけ支援

○ 今後の検討の方向性

① コミュニティの再生

- ・ 社会の変化に対応した新たな形の人と人のつながり、コミュニティ創造のあり方について
- ・ コミュニティを維持形成するために行政が果たすべき役割、民間が果たしうる役割

② 内発的発展が支える地域づくり

- ・ 地域の経済・社会的な活動の担い手となる人をどう増やしていくのか（関係人口を含めた地域の活動人口の拡大、技術革新や働き方改革など社会の変化への対応等）
- ・ ①のコミュニティも活かした地域づくりにおける地方公共団体の役割、及び地域金融機関やNPO、民間企業等の組織も含めた地域の多様な主体との連携のあり方
- ・ 内発的発展を支える様々な拠点、空間、ネットワークなどの重層的な地域構造について